

新規石炭専用船「MAIZURU KAZENOMAI」の命名

2026年10月28日
関西電力株式会社

当社は、本日、株式会社大島造船所香焼工場で竣工した新規石炭専用船を「MAIZURU KAZENOMAI」（以下、本船）と命名しました。本船は、株式会社商船三井が運航し、当社の舞鶴発電所向け石炭輸送を担う新たな専用船です※¹。

当社は、燃料の安定調達に向け、専用船、COA契約※²、スポット契約を組み合わせ、輸送手段の安定性・経済性・柔軟性を確保しており、本船もこうした取組みの一環として活用するものです。

本船は、船舶用重油とLNGの双方を燃料として使用できるDual Fuel仕様※³を採用するとともに、風力を推進力として活用する硬翼帆(ウィンドチャレンジャー)※⁴を搭載しています。これにより、従来の輸送船に比べて最大約30%※⁵のCO₂削減が見込まれ、輸送時の環境負荷の低減に寄与します。

「MAIZURU KAZENOMAI」という船名には、当社の石炭火力発電所が位置する舞鶴の地名と、風を活用して航行する本船の特徴を重ね、安全で安定した航海を続けてほしいとの思いを込めています。

当社は今後も、燃料の安定的かつ経済的な調達に努めるとともに、輸送時の環境負荷低減にも取り組み、電力の安全・安定供給に万全を期してまいります。

※1：[2023年6月8日](#)お知らせ済み

※2：Contract of Affreightment。一定期間にわたり、あらかじめ定めた数量の貨物輸送を船会社に委託する契約。専用船のように特定の船舶を専用で確保するものではなく、船会社が手配する船舶により輸送する。

※3：船舶用重油とLNGの双方を燃料として使用できる仕様のこと。航行状況や燃料供給状況に応じて燃料を選択でき、輸送時の環境負荷低減にも寄与する。

※4：航空機の翼のような硬い帆で風を受け、船の推進力の一部として活用する装置。航行時の燃料使用量を抑えることで、輸送時の環境負荷低減に寄与する。

※5：日本－豪州航路の場合の試算値。

別紙：本船の概要

以 上

本船の概要



船名	MAIZURU KAZENOMAI
全長/全幅	234.98メートル／38.0メートル
載貨重量トン数	95,311トン
CO ₂ 削減量	LNG燃料使用時：約25% 硬翼帆(ウィンドチャレンジャー)使用時：約5～8%

＜竣工式の様子＞



※一列目中央：関西電力株式会社 代表執行役社長 森 望